



2025 年 9 月 29 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A V i C
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 市 原 創 吾
(コード番号：9554 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 笹 野 誠
(TEL. 03-6272-6174)

直近のよくある問い合わせと回答

日頃より、当社に関心をお寄せいただき有難うございます。2025 年 8 月 14 日に開示した 2025 年 9 月期第 3 四半期決算に関連して投資家様から特に多く寄せられた問い合わせと回答について、フェアディスクロージャーの観点から下記の通りお知らせいたします。

また、本日開示した「業績予想の修正に関するお知らせ」を踏まえ、来期（2026 年 9 月期）の業績見込みに関して想定される投資家様からの問い合わせと回答も内容に含んでおります。

[「業績予想の修正に関するお知らせ」](#)

Q1. 2025 年 9 月期 3 Q 決算をどう評価するか？

2025 年 9 月期 3 Q 決算は、上期に引き続きエンタープライズ顧客を中心に新規顧客の獲得が進展したことにより、YoY で売上高は+50.3%、売上総利益は+53.4%、営業利益は+74.9%と増収増益での着地となりました。

リアレーション社を M&A したことによる関連費用（専門家費用等一過性の費用）約 30 百万円を計上しましたが、「重視している経営指標」の一つである営業利益の絶対額は 163 百万円と、実質的に過去最高の四半期業績となりました。

QoQ の業績推移は、2Q は広告の需要期であることからスポット性の案件の受注により毎年強含みますが、今期はエンタープライズ顧客案件が複数件 3Q から開始したことにより、オーガニック（＝リアレーション社の連結影響を除く）でも QoQ で増収となりました。

3Q 開始のエンタープライズ顧客案件もリカーリング性のある継続案件で、4Q や来期の業績への貢献も見込まれることから、非常に内容の良い 3Q であったと評価しております。

Q2. 第 4 四半期、通期の業績見込みは？

2025 年 9 月期 4Q も良好な事業状態が継続し、売上高・利益ともに四半期として過去最高の業績となる見込みです。進捗を踏まえ、本日業績予想の上方修正を行っております。詳細につきましては、以下の適時開示をご参照ください。

「[業績予想の修正に関するお知らせ](#)」

2025 年 9 月期も、YoY で売上高成長率 30%超かつ営業利益成長率 50%超と、クオリティ・グロースを継続することとなります。なお、4Q に人的投資を実施予定ですが、上方修正後の営業利益は人的投資実施後の数値になります。

Q3. 来期（2026 年 9 月期）の業績見込みは？

エンタープライズ顧客からの案件受注と、人材採用・人材育成・テクノロジーの活用による組織力の向上の両輪がかみ合うことで、来期もクオリティ・グロースを継続できるものと見込んでおります。

来期（2026 年 9 月期）の業績は、本日現在、少なくとも YoY での売上高成長率及び営業利益成長率を+30%と見込んでおります。

Q4. M&A をしたリアレーション社の今期（2025 年 9 月期）、来期（2026 年 9 月期）の業績見込みは？

M&A により今期から連結開始（2025 年 5 月から 9 月の 5 ヶ月間）となったリアレーション社ですが、PMI が順調に進展していることから、今期の業績はのれん等無形資産償却後でプラスとなる見込みです。なお、リアレーション社ののれん償却費用は約 3 百万円/月です。来期は、PMI の完了・自立的な成長・当社との協業による成長により、売上高で 6 億円超、営業利益で数千万円の業績貢献を見込んでおります。

Q5. ライブコマースをはじめとする TTS（TikTok Shop）関連事業のアップデートは？

2025 年 6 月 30 日に TTS が日本でローンチしました。足許、商談・受注・体制構築（リアレーション社との連携、ASY マーケティング社の立ち上げを含む）は順調に進捗しております。現時点において、TTS 先進国である中国、日本よりサービスローンチが速く普及が進んでいる東南アジア諸国・アメリカ・イギリス等における TTS 市場の立ち上がりスピードに鑑

みるに、日本における TTS 市場が存在感を示すにはまだ一定の時間を要すると考えます。ただし、生活者の態度変容、セラーの TTS への経営資源の投下、プラットフォームのアルゴリズムの変化等が相まることで、今後の市場拡大は加速するものと見立てております。

今後、当社グループは、当社、思美遥望社及びリアレーション社の強みを持ち寄り、これから本格拡大する日本におけるライブコマースをはじめとする TTS 市場での主要プレイヤーとなることを目指します。

日々事業環境はアップデートされているため、投資家の皆様には適切なタイミングでの開示・コミュニケーションを実施してまいります。

以上